

平成29年3月15日

輸送動向について（2月分）

1. 輸送概況

今月は、初旬の低気圧接近に伴う東北地区での風規制、さらには23日に発生した室蘭線貨物列車脱線事故などの影響により、月全体で高速貨76本が運休となった（前年は運休実績なし）。

コンテナについては、新車販売の好調に伴い、大手自動車メーカーの自動車部品が、東海地区発東北地区向けで荷量が倍増したことに加え、九州・関東地区間での輸送が好調に推移し、前年を大きく上回った。また、トラックドライバー不足により鉄道へのシフトが続いている食料工業品が、大阪地区から北陸地区へのビール輸送の開始が加わり順調に推移し前年を上回ったほか、積合せ貨物・化学薬品が堅調に推移した。

一方、農産品・青果物が、北海道地区において台風10号の影響継続に加え、貨物列車脱線事故により、馬鈴薯・玉葱・民間流通米が前年を大きく下回った。また、紙・パルプが印刷紙・コート紙の需要の落ち込みにより減送となった。その結果、コンテナ全体で、前年比100.4%となった。

車扱については、石油が気温低下に伴い灯油を中心に好調に推移した一方で、セメント・石灰石が定期修繕などの影響で前年を下回り、車扱全体では前年比100.0%となった。

コンテナ・車扱合計は、前年比100.3%となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、％）

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,784	1,777	100.4%	19,866	20,027	99.2%
車 扱	844	844	100.0%	8,108	7,846	103.3%
合 計	2,628	2,621	100.3%	27,974	27,872	100.4%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、％）

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	165	185	-20	89.4%
	化学工業品	172	173	-1	99.3%
	化学薬品	127	126	1	100.3%
	食料工業品	272	270	2	100.9%
	紙・パルプ	255	270	-15	94.6%
	他工業品	138	122	16	113.5%
	積合せ貨物	209	208	1	100.3%
	自動車部品	78	58	20	132.7%
	家電・情報機器	34	34	0	100.7%
	エコ関連物資	40	40	0	100.8%
	その他	293	291	2	101.0%
	コンテナ計	1,784	1,777	7	100.4%
車 扱	石油	596	580	16	102.7%
	セメント・石灰石	106	123	-17	86.0%
	車 両	91	80	11	113.2%
	その他	52	61	-9	85.0%
	車 扱 計	844	844	0	100.0%
合 計		2,628	2,621	7	100.3%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）